

ナイトセッション

第26回
日本感性工学会大会

～学び続ける時代の感性教育～

会期

2024年
9月11日(水)
17:10～19:30

場所

タワーホール船堀B会場4階401室(東京都江戸川区船堀4丁目1-1)
・本セッションはハイブリッド開催です(対面 / オンライン)
・右の申込QRコードより事前のお申し込みをお願いいたします

申込



感性教育部会について

感性教育研究部会は、本学会の発足当時より「感性」を「育む」という立場から教育のあり方について議論してきました。その意味において、感性をベースとした社会基盤の構築に資する多様な人材育成を目指す本学会の基底をなすべきと考えます。本部会は、様々な立場の教育・研究者と哲学・心理学・人類学・生活科学・芸術学・社会学・行政学・環境学・工学などの領域とのソフトな論談を通して、感性の芽生えと感性自発の機会の諸例、感性と成育環境、感性教育の方法論の模索などを取り纏め、社会へ提言し続ける機関になれば幸いです。本大会のナイトセッションでは、学び続ける時代において「人はどうすれば学び始めるのか」「学び続けられるのか」について、感性教育の視点から話題を呈示し、皆様とのラウンドテーブルの場を提供し、本大会テーマ「夏への扉」の幕開けとなりますことを願っています。

キーノートスピーチ：17:10-17:55(トーク&QA)

林 靖人 / Hayashi Yasuto

信州大学 副学長(エンrollment・マネジメント担当)担当) 教授

タイトル：学び続け、創造性を発揮し続けるためには？

- 「感性」センサーを考える -

外界から受け取った刺激に対して、興味関心を抱き、多面的に観察したり、深い洞察を持つことで、創造性や情緒豊かな感性情報処理が可能になります。しかし、人の情報処理(脳)のシクミは、経験を重ねることによって、逆に感性処理を発動させる「感性センサー」を鈍くする可能性も有しています。そのことに「きづき」、感性情報処理を生涯発揮し続けるためには？ みなさんと一緒に考えたいと思います。



プレゼンター

- ①17:55-18:10 佐々木 和也 「部会のこれまでとこれからのについて～環境感性を手がかりに～」
- ②18:10-18:25 小阪 裕司 「ビジネスにおける「学び続ける感性」とは
～企業の「学びの場」を25年主宰してきた経験と研究から～」
- ③18:25-18:40 藤尾 宗太郎 「学び続けるマインドセットについて -AIDMAEC理論の構築へ向けて-」
- ④18:40-19:30 クロストーク&フリーディスカッション

主催：感性教育部会 / 宇都宮大学 佐々木 和也・信州大学 藤尾 宗太郎

問い合わせ先：藤尾 fujio@shinshu-u.ac.jp 【感性教育部会は参加者を大募集中です！】